

IT can create it.

2012 CSR REPORT

キーウェアソリューションズ株式会社
CSR報告書



トップインタビュー

社会やステークホルダーの皆様から信頼されるとともに成長を期待される企業を目指します

Q. キーウェアにおけるCSRとはどのようなものとお考えですか？

私たちキーウェアグループは、創業以来、社会インフラ企業の情報通信基盤構築をはじめ、携帯電話基地局の監視・制御システム、列車運行案内に関するネットワークシステム、交通管制システム、通信事業者や大手鉄道輸送会社向け収入・料金管理



代表取締役社長 三田昌弘

システム等、さまざまな社会インフラシステムの構築に携わってまいりました。キーウェアという名前が直接目に触れる機会は少ないかもしれませんが、皆様の身近なところでICT（情報通信技術）を通じ、便利で豊かな暮らしを支えています。

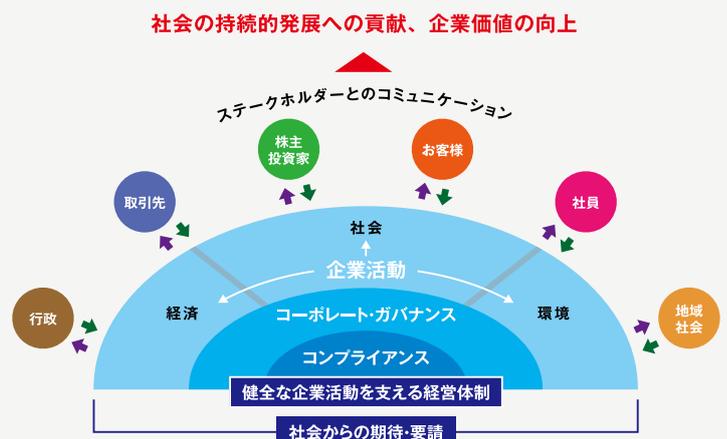
ICTの利活用は、経済成長や企業の競争力強化の目的に加えて、近年は、医療、教育、暮らしなど幅広い分野において広がり、社会が抱えるさまざまな課題に対応するために必要不可欠なものとなっています。当社グループでは、「創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献する」ことを経営理念に掲げております。今後も、これまで培った技術力と豊富な業種・業務ノウハウを活かし、社会のさまざまな課題やニーズに対応するサービスを提供していくことで、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

Q. 事業を通じて、今後どのような取り組みを進めていきますか？

本年1月に社長に就任以後、新たな事業方針として「3つのフロンティア」戦略を掲げております。国内の未出店地域や海外への進出を実現する「地理的・空間的なフロンティア」、蓄積された技術や業務ノウハウをもとにした新規の事業分野の開拓や事業領域の拡大を実現する「事業上のフロンティア」、そして新たな発想による新規サービスやビジネスモデルの創出を実現するための「考え方や発想のフロンティア」の3つのフロンティアです。急速に変化する事業環境に対応し、安定した収益基盤の拡充と、競争力強化に取り組んでまいります。

CSRの考え方

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションをはかりながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



Q. これまでの具体的な取り組みを教えてください。

本年4月、東北地方の営業と開発の拠点として宮城県仙台市に東北支店を開設しました。当地に立地する東北大学は、IT分野における先進的な技術開発で世界をリードしています。このほどご縁をいただき、先進技術の実用化に向けて互いの持つアイデアやノウハウをジョイントさせていくことになりました。

本年7月には、スマートフォン向け健康管理サポートサービス「健康からだコンパス LifeRoute (ライフルート)」の提供を開始しました。国の生活習慣病予防制度として、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査・特定保健指導」の実施が義務付けられるなど、健康に対する意識が高まっていることや、スマートフォンの普及がさらに見込まれることに対応したものです。当社は法人企業・官公庁のお客様向けの事業が中心でしたが、本サービスは初めて個人のお客様向けにサービスを提供しております。

サービス提供型事業へのシフトにも取り組んでいます。例えば、東京都世田谷区が推進する「世田谷区ひとり親家庭等在宅就業支援事業」は、同区内在住のひとり親家庭に対して、仕事と子育ての両立をはかりやすい在宅就業を促進するために、在宅就業に必要なICT知識・技術の習得などを支援するもので、当社は本事業において、IT領域のみならず受講生の募集から在宅就業の発注者および仕事の開拓まで、運営のすべてを請負っています。

また、ソフトウェア開発における長年の経験を活かして自社開発したソフトウェアパッケージを、国内だけでなく海外の消費者に向けてグローバルに展開していくことも視野に入れています。このように、市場環境の変化や社会のニーズに対応し、新たな事業領域やサービスを積極的に開拓しています。

Q. 本業とは別に、どのような地域社会貢献活動に取り組んでいますか？

当社では、地域に密着した社会貢献活動の一つとして、社名にちなんだ植樹活動「木植えあプロジェクト」を推進しています。

これは「未来へのキーを大地にさそう」というコンセプトのもとに、世田谷区内の小学校を中心に木や花を植えるお手伝いをさせていただくボランティア活動です。地域緑化に貢献するのももちろんですが、植樹活動等を通じて次世代を担う子どもたちに環境問題を考えてもらい、地球の未来を守るヒント(カギ)を手にしてほしいとの願いも込めています。私自身も、世田谷区にある小学校を訪問し植樹やフラワースクールの活動に参加しました。今後も、地域社会に密着した活動を進めていく考えです。



Q. CSR経営を支える社内における取り組みの中で、これから特に注力していくことを教えてください。

キーウェアグループでは、経営の健全性・透明性を保ち、企業価値を継続的に向上させるべく、社員のコンプライアンスの徹底や情報管理体制を整備するなど、経営体制の強化に取り組んでいます。

新たな取り組みとして開始したのが、社員の英語力の強化です。IT分野における当社の高い技術力を世界に向けて訴求していくためには、英語によるコミュニケーション能力が不可欠であると考えており、社内研修の実施をはじめ、グローバルな事業展開を牽引する人材の育成をはかっています。

また、グループ社員一丸となって企業価値の向上をはかり持続的な成長を目指していくために、組織力の強化が重要だと考えており、社内のコミュニケーション活性化にも取り組んでいます。本年より社内のコミュニケーションを一層活性化させるために委員会を設置したほか、若手社員が中心となって社員同士が交流を深める場をつくるなど、社員も積極的に取り組んでくれています。

キーウェアグループは、社会やステークホルダーの皆様から信頼されるとともに成長を期待される企業を目指し、今後も一層の努力を重ねていく所存です。

経営理念

事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

企業風土

個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。

社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

企業スローガン

IT can create it. クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

暮らしの中のキーウェア

1 空港で



安全

航空路管制システム

通信入出力DUAL (二重構造) 制御やスポット管理全般の特殊なノウハウを駆使してシステムを開発しています。



2 工場で



便利

ERPソリューション

生産管理を中心に人事管理、財務会計、購買管理といった各パッケージならびに広範囲の各機能を統合したテンプレートをもとに基幹システムの導入を支援しています。



3 流通で



便利

商社向け在庫管理・入出庫管理システム

商社向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。



4 高速道路で



便利

交通情報ソリューション

各種交通情報 (渋滞、信号機制御、感知器情報等) の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。



5 街中で



便利

野球・ゴルフ・大相撲などのスポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。



6 固定電話で、携帯電話で



便利

一般電話 (NTT)、携帯電話の通信情報、パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センタに設置されている料金明細センタへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

7 病院で



安心

オーダリングシステム、電子カルテ、臨床検査システム、院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティンクから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。



私たちは、情報システム・豊かで便利な社会の発展を



サービスを通じて 支えています。



14 宇宙で



衛星追跡管制・衛星関連データ処理
宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。



13 オフィスで



経営とITの
統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

情報セキュリティ

ハイブリッド・シンクライアントは、独自の高速プロトコルによりネットワーク負荷が低く、既存PCをそのまま活用でき、初期導入コストを劇的に低減することが可能。情報漏えい対策にも効果を発揮します。



12 ホームで



駅のホーム用車両接近状況表示、
行先案内表示、緊急案内表示

鉄道駅のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。



11 駅の改札で



駅改札におけるICカード利用など

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務などのノウハウを有しています。



10 自宅で



ECサイト

健康サービスサイトの運営や、商品販売サイトのシステム開発に携わっています。

在宅就業支援、テレワーク

シンクライアントソリューション、クラウドサービスを利用し、在宅就業やテレワークの環境構築を行っています。

スマートフォン向け健康管理サービス

スマートフォンを活用して日々のバイタルデータを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からだコンパス LifeRoute (ライフルート)」を提供しています。



8 銀行で



金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。



9 学校で



ICT活用環境の構築

児童と教師が相互に操作するソフトウェアやデジタル教材を活用した授業ができるシステムや、iPad (アイパッド) でWindowsの教材コンテンツを利用できる仕組みを構築しています。



マネジメント編

キーウェアグループは、経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営体制の強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

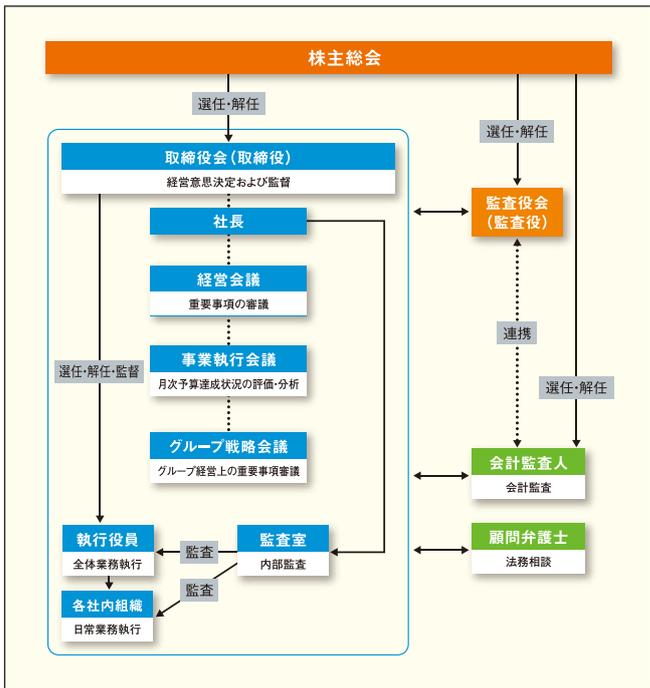
基本的な考え方・推進体制

グローバル化の進展や企業価値重視の経営という流れの中で、企業におけるコーポレート・ガバナンスの重要性はますます高まっています。こうした中で、当社といたしましても、コーポレート・ガバナンスを重要課題の一つとしてとらえ、経営環境の激しい変化に対応すべく、経営の効率化・意思決定の迅速化や、経営監督機能を充実させるため各種施策に取り組んでいます。

[取締役会] 取締役会は、取締役7名(うち社外取締役1名)で構成されます。経営の基本的な方針と戦略の決定および業務執行の監督機関と位置付けています。

[執行役員制度] 2000年7月より業務執行の迅速化をはかるため、執行役員制度を導入しています。執行役員8名(取締役の兼務者が5名)を配置し、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあっています。

[監査役会] 監査役会は監査役4名(うち社外監査役2名)で構成されます。取締役会をはじめとする重要な会議への出席や業務および財産などの状況調査を行うことにより、取締役の職務執行を監視・監査しています。



コーポレート・ガバナンス体制(概略)

コンプライアンス

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、法令および定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進しています。

また、役職員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理室においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同室を中心に教育等を実施しています。

●内部通報制度

法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を予防するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

●コンプライアンスの啓発・教育の実施

社員のコンプライアンスの徹底をはかるため、全社員を対象として階層別研修やeラーニング等による教育を実施しています。2011年度は、外部有識者を招いて「派遣・請負契約に係わるコンプライアンスセミナー」を実施したほか、職場のセクシュアルハラスメントの未然防止や意識向上のためeラーニング教育等を実施しました。

また、「社員行動規範カード」を全社員に配付し、社員のコンプライアンス意識の向上をはかっています。



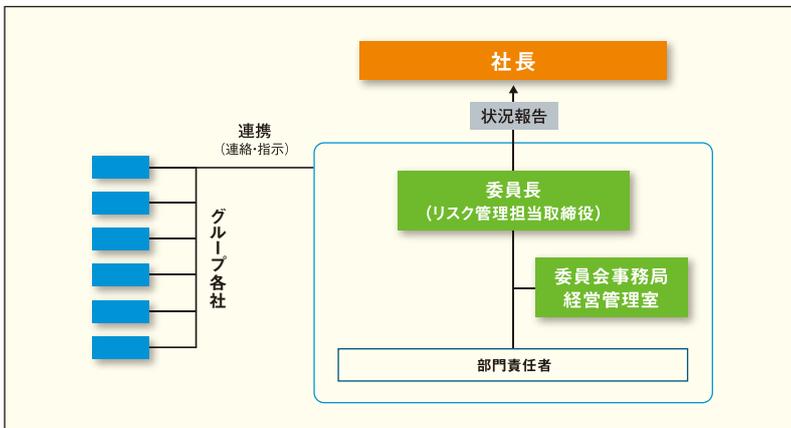
派遣・請負契約に係わるコンプライアンスセミナー



リスクマネジメント

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病および会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより業務運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づきリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

●大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロおよび社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアグループが被害にあった場合またはあうおそれのある場合、社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方策として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品の整備、防災訓練などを実施しています。

2011年11月に実施した防災訓練では、定期的に行っている通報訓練、消火訓練、避難訓練のほかに、2011年3月11日の東日本大震災発生を受けて、避難時間の短縮、避難時の安全性の向上等、大規模地震発生を想定した避難対策の一層の強化をはかりました。

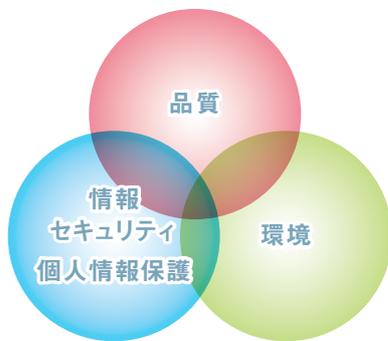


防災訓練の様子

統合マネジメントシステム (品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境)

基本的な考え方

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステム(QMS)、環境マネジメントシステム(EMS)、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)、および個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を統合したマネジメントシステム「iSMASH」の運用を行っています。



※ iSMASH: integrated Synthetic Management System of Quality Assurance for a Software House



●品質

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステムの運用だけに留まらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステムをブラッシュアップしていく活動を進めています。

●情報セキュリティ

キーウェアグループでは、情報の適切な取り扱いを行うため、「情報セキュリティ遵守事項」を制定し、全社員および当社業務に関わるパートナー社員に対して情報セキュリティ教育を継続的に実施しています。また、ISMS認証を取得し、機密情報管理の徹底を行っています。



セキュリティ教育やセキュリティ施策の励行により、年々セキュリティインシデント件数は減少しています。

●個人情報保護

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分な配慮を行い、個人情報保護に努めています。また、キーウェアグループ(キーウェアサービスおよびキーウェア九州を除く)の各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

環境編

キーウェアグループでは、環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、豊かな社会と環境の実現に貢献してまいります。また、環境省が提唱しているチャレンジ25に参加し、温室効果ガス削減に積極的に取り組んでいます。

iSMASH方針

2011年度下期よりQMS、ISMS、PMSを統合したマネジメントシステム「iSMASH」にEMSも統合し、マネジメントシステムの有効性を高めた運用を行っています。

<p>iSMASHの目的</p> <p>1 顧客要求事項・法令規制要求事項を満たす製品・サービスを提供することはもとより、品質および生産性を向上し、顧客満足度を向上すること。</p> <p>2 顧客からの預かり品を含む当社の所有する情報資産に対する適切な情報セキュリティを確保し、社会的信用の失墜、事業の中断および会社資産の喪失を防ぐこと。</p> <p>3 特に個人情報に関しては、取得、利用、提供、保管および廃棄等を適正に行うこと。</p> <p>4 環境問題への取り組みを企業および個人の社会的責任と認識し、豊かな社会と環境の実現に貢献すること。</p>	<p>目的を達成するために、次の各号に掲げる事項を実施する</p> <p>1 全体・各階層で、目標を設定し、計画し、プロセスを実施する。</p> <p>2 プロセスを実施した結果を定量的に測定し、分析する。</p> <p>3 実績やノウハウ等の経験を組織的に蓄積する。</p> <p>4 関連する法律、規則や必要とした要求事項を遵守する。</p> <p>5 継続的改善を実行する。</p>	<p>重点施策として次の各号を実施する</p> <p>1 品質 引き合いから納品までの各段階で検証等を行い、要求事項を満たす。</p> <p>2 情報セキュリティ 情報資産を特定し、リスクアセスメントし、管理策を定め、実施する。</p> <p>3 個人情報保護 情報資産の中で特に個人情報について管理策を強化する。</p> <p>4 環境 省資源・省エネルギー、環境に配慮した製品サービスの購入および提供をし、3R（リユース、リデュース、リサイクル）を徹底する。</p>
---	--	--

改定日：2012年4月1日／制定日：2005年5月19日
 キーウェアソリューションズ株式会社 代表取締役社長 三田 昌弘

iSMASH目標

目的	2011年度目標		
	目標	目標値	実績
環境パフォーマンスの向上	電力消費の削減	電力使用量:232kWh/m ² 前年度比:13.6%削減	195kWh/m ² 前年度と比較して25.4%削減
	2012年度目標		
	目標	目標値	
	時間外勤務を減らし、紙および電気の使用量と、廃棄物の削減を行う	電力の使用量を前年度より3%削減	
		紙使用量を前年度より3%削減	
廃棄物量を前年度より3%削減			
時間外勤務時間：計画値を超えないこと			

監視・測定データ

監視項目	2011年度実績
印刷用紙使用量	前年度と比較して紙使用量は9.1%削減
廃棄物量	前年度と比較して3.4%削減
「保護(まもる)くん」等を活用したリサイクル率	前年度と比較して3%向上

環境パフォーマンスの主な実績

電力使用量 前年度比 **25.4%改善**



紙使用量 前年度比 **9.1%改善**



廃棄物量 前年度比 **3.4%改善**



※2010年度から(株)プレヴァシステムズも含めた計測

※キーウェアソリューションズ(株)、キーウェアサービス(株)のみ計測



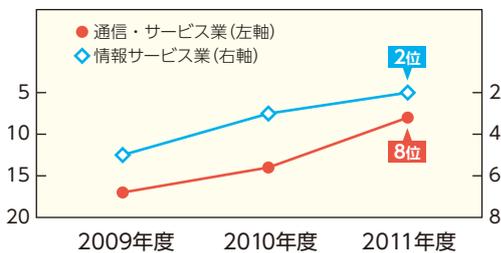
特筆すべき活動

日本経済新聞社 環境経営度調査にて高評価を獲得

本調査は、各企業による調査票の回答から、環境経営への取り組みが優れている企業のランキングを発表するもので、日本経済新聞社が1997年から毎年1回実施している調査です。

キーウェアソリューションズは非製造業の「通信・サービス」部門で8位に評価されました(同部門における情報サービス業事業者では2位)。

評価項目の中で、特に「資源循環」と「温暖化対策」について高評価をいただきました。



環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCA*を確実に展開しています。

*PDCA: P(Plan)・D(Do)・C(Check)・A(Act)という事業活動の「計画」「実施」「監視」「改善」サイクルを表す。

「せたがやエコライフ推進事業所」宣言

世田谷区では、区内の個人から企業までを対象に「せたがやエコライフ推進事業所」の宣言を求めており、一定の基準を満たした場合に確認証(ステッカー)を発行しています。キーウェアグループも区内に本社を構える企業として、この「せたがやエコライフ推進事業所宣言」をはじめ、「世田谷みどりのトラスト基金」への協力を行っています。



昨夏の消費電力15%削減に向けた取り組み結果

昨夏は、電力不足問題に対応するため、「電力不足対策ワーキンググループ」を発足し、節電施策を推進しました。その結果、4～9月の6か月間で、前年同期と比較して26.7%の電力使用量の削減となりました。

実施した節電対策については、本年度も継続して実施しています。

実施した節電施策	<ul style="list-style-type: none"> ● 空調稼働時間の短縮 ● 執務室内、ロビー・エレベータホールの蛍光灯の間引き ● エレベータ稼働頻度の削減 ● エアタオルの使用禁止 ● 夏季休暇の一元化 ● 消費電力の監視 ● クールビズの実施期間の拡大
----------	--

環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わるすべての関係者に教育を実施しています。



- 全社員に対しWBT (Web Based Training) による環境教育を実施。
- その他協力会社(廃棄物業者・清掃業者等)に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。
- 中途採用者およびプロジェクトへの新規参画協力会社社員に対する教育を随時実施。

保護(まもる)くんを活用したリサイクル活動

	2009年度	2010年度	2011年度
年間排出量	21,690kg	15,820kg	16,200kg
森林伐採抑制量	309本	238本	243本
CO ₂ 排出抑制量	8,923kg	6,852kg	7,026kg

保護くん利用箇所: キーウェアソリューションズ(株)、キーウェアサービス(株)

保護(まもる)くんとは、

株式会社日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。また、カーボンオフセットサービス「保護くんZERO」があり、カーボンオフセットにも貢献しています。



エコキャップ活動

キーウェアグループは、「エコキャップ運動」に参加しています。エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを集め、リサイクルメーカーへ売却し、その売却益をワクチン寄贈団体に寄付し、世界の子供にもポリオワクチンを届けるという運動です。この活動を通じて、地域環境、限られた資源を有効に活用することなどを考えています。キーウェアグループでは、2008年12月から活動を開始し、2012年6月までに約36万個のキャップを回収しました。換算すると、450名分のポリオワクチンを子どもたちに届けたことになります。



社会編

キーウェアグループは、経営理念として掲げている「社会的役割」の考え方にに基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、ともに成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客様とともに

お客様満足度向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

CS向上大会を開催

毎年1回、各部門の社員が参加し、CS向上大会を開催しています。2011年度は“CO2”[今こそ変革のチャンス！ 自分を変えよう、キーウェアを変えよう！] (Change Ourselves and then Change Our company!) をテーマとし、会社を変えるためには、我々一人ひとりがまず日々努力して、成長していく必要があることを考えました。お客様満足度向上のため、従業員満足度についての話、当たり前のことを確実に実行し続けることの重要性、これからのCSについて等の発表を行いました。

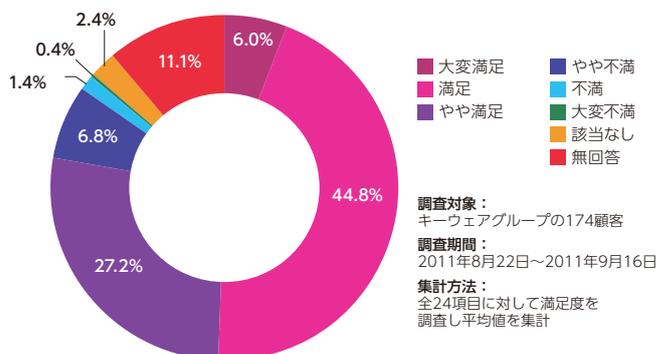


CS向上大会

お客様満足度アンケートを実施

キーウェアグループでは、定期的に主要顧客に対してお客様満足度アンケートを実施。アンケート結果を評価・分析することで、日頃の業務を見直し、さらにお客様にご満足いただけるよう、継続的改善をはかっています。

● お客様満足度アンケート結果



株主・投資家の皆様とともに

基本的な考え方

キーウェアソリューションズは、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置付けています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアソリューションズに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内ヘフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めてまいります。

情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適時、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」で定める情報およびそれに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアソリューションズを理解していただくために有効な情報につきましても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて、決算情報、財務データをはじめ、キーウェアソリューションズの強みや特長などを日本語と英語で掲載しています。また、機関投資家向け決算説明会の様子や社長による決算説明を動画配信し、IRサイトの充実をはかっています。



機関投資家向け決算説明会



株主通信「KEYWARE TIMES」

● 所有者別株式分布状況 (2012年3月31日現在)





地域社会とともに

インターンシップの実施

2009年度より、学生の皆様の職業観・就業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。システムエンジニアの仕事への理解を深めていただくために、仮想プロジェクトチームを組み、当社が開発した企業向けソリューションを用いてお客様の問題解決をはかる作業を、ケーススタディを交えて体験(実践)しています。



2011年度は、11校20名の学生が参加し、2週間の日程で実施しました。参加した学生は、最初は戸惑いながらもグループワーク等のシステムエンジニア業務に真剣に取り組み、充実した2週間を過ごしました。

収集・リユース等のボランティア活動

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの環境意識の向上や社会貢献のために、誰でも参加できるボランティアに取り組んでいます。

●エコキャップ運動

NPO法人「世界の子どもにワクチを 日本委員会」にペットボトルキャップを集めて寄贈

●使用済み切手の回収

国際協力NGO ジョイセフへ寄贈

●不要カレンダーの寄贈

日本災害救援ボランティアネットワークが主催するカレンダーリサイクル市に寄贈



社員とともに

人材育成への取り組み

キーウェアグループでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。また、社員の技術スキルレベルの向上をはかり、より専門性を高めることを、経営戦略の重要テーマとしています。

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの適性・志向に合ったキャリアアップを支援するため、部門ごとに標準キャリアパスを設定し、そのキャリアパスに沿って、技術系/ビジネス系/ヒューマン系の体系的な研修を提供します。そして、ITSSツールを用いてスキルアップ計画を策定し、PDCAサイクルに沿った組織的・計画的な研修・OJT(先輩・上司による現場教育)による指導・育成を実施しています。すべての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキル向上および自己啓発支援の一環として、資格取得を推進し、会社が必要と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては一時金として資格取得奨励金を支給しています。

2012年度より、人事考課制度に「役割グレード制」を導入し、併せて人材育成プロセスの改善に着手しました。先行的に若手社員の育成、新技術習得やグローバル人材育成を意識した公募制の研修(フロンティア・チャレンジ研修)制度をスタートさせ、次世代人材育成の強化に着手しております。

東日本大震災復興支援活動

東日本大震災復興支援への取り組みの一環として、2012年5月に岩手県盛岡市で開催された「東北六魂祭 2012」のベネフィット・ワンふれあいコーナーに出展いたしました。当社のブースでは、今年開設した東北支店の社員も参加し、iPadを活用した子ども向け抽選会や「木植えあプロジェクト」の一環として花の種の配布を行い、大変多くの方々に足をお運びいただきました。今後も企業活動を通じ、復興支援のお役に立てるよう取り組んでまいります。



木植えあプロジェクト

キーウェアソリューションズの所在地である世田谷区の小学校を中心として、木や花を植えるお手伝いをし、地域緑化に貢献するとともに、次世代を担う子どもたちに環境問題を考えてもらおうというボランティア活動「木植えあプロジェクト」を行っています。2012年春には世田谷区の小学校や、当社が総務省「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」で関わった埼玉県入間郡毛呂山町に花の種を贈呈いたしました。



毛呂山町 井上町長へ
花の種を贈呈

ワークライフバランス～次世代育成支援の取り組み～

社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員全体が働きやすい環境をつくることによって、すべての社員がその能力を十分に発揮できるよう、次のように3ヵ年計画を策定し実行しています。

●社員の仕事と子育ての両立を推進する諸制度(育児休業制度、育児時短制度、子・家族の看護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセリング窓口など)の周知徹底を行うとともに、利活用を促進します。

●社員が家族との時間を大切にできるように、計画年休の日数を増やすとともに、年次休暇を取得しやすい風土・環境づくりを目指します。

育児休業取得者・育児時短勤務利用者数

	2009年	2010年	2011年	2012年
育児休業取得者	1人	3人	6人	5人
育児時短勤務利用者	1人	1人	2人	6人

各年4月1日時点、キーウェアグループ全体

健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス(外部カウンセラー相談窓口)を導入、2009年には保健師による健康相談(長時間労働者、健康診断有所見者)を開始し、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実をはかっています。

会社概要

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社	キーウェアグループ	キーウェアサービス株式会社
創立	1965年5月		キーウェア北海道株式会社
資本金	17億37百万円		キーウェア西日本株式会社
売上高	154億5百万円(2012年3月期・連結)		キーウェア九州株式会社
従業員数	1,154名(2012年3月末現在・連結)		株式会社クレヴァシステムズ
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部		

編集方針

「キーウェアソリューションズ株式会社 CSR報告書2012」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様へ、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告させていただきます。

キーウェアグループは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

ホームページ

キーウェアグループの社会・環境活動(CSR)につきましては、ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>

報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています(キーウェアソリューションズ株式会社のみ限定される事象の報告については、本文中に明記しています)。

報告対象期間

2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)
※一部に2012年度以降の活動も含んでいます。

発行年月

2012年8月

表紙デザインについて

キーウェアグループの事業に関連したアイコンと、明るい暮らしを印象づける家族を、街並みから伸びる美しい曲線でつなぎ、便利で豊かな社会づくりが当社グループの事業によって膨らんでいくことを表現しています。

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18 管理本部 経営企画室 広報IR部
TEL 03-3290-1111 FAX 03-3290-6741

<http://www.keyware.co.jp>

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。